

第3回北部地域医療勉強会  
2026年1月26日（月）

# 沖縄県の救急医療の現状について

## ー県立・大学病院での経験からー

琉球大学病院 救命救急センター

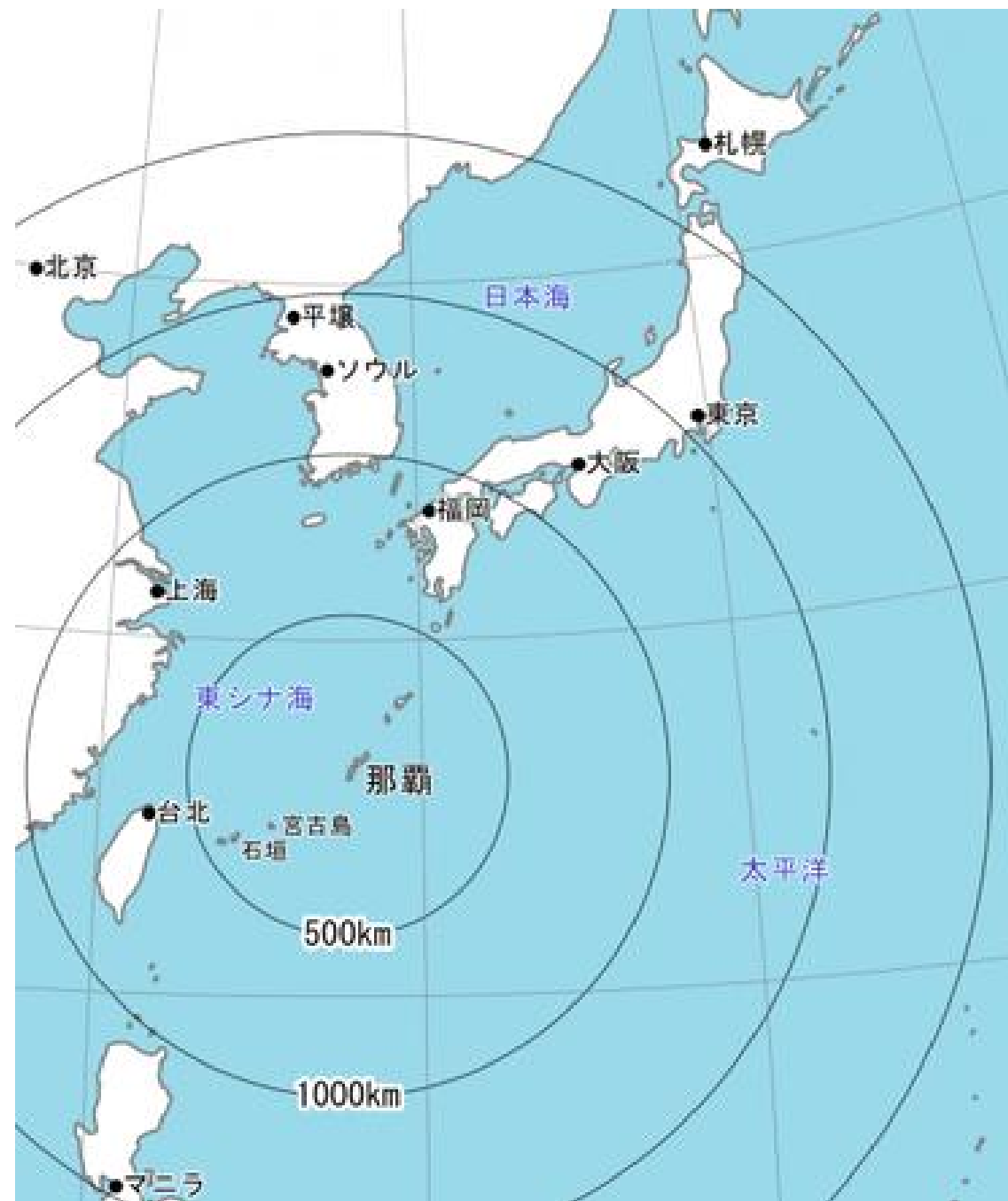
梅村武寛



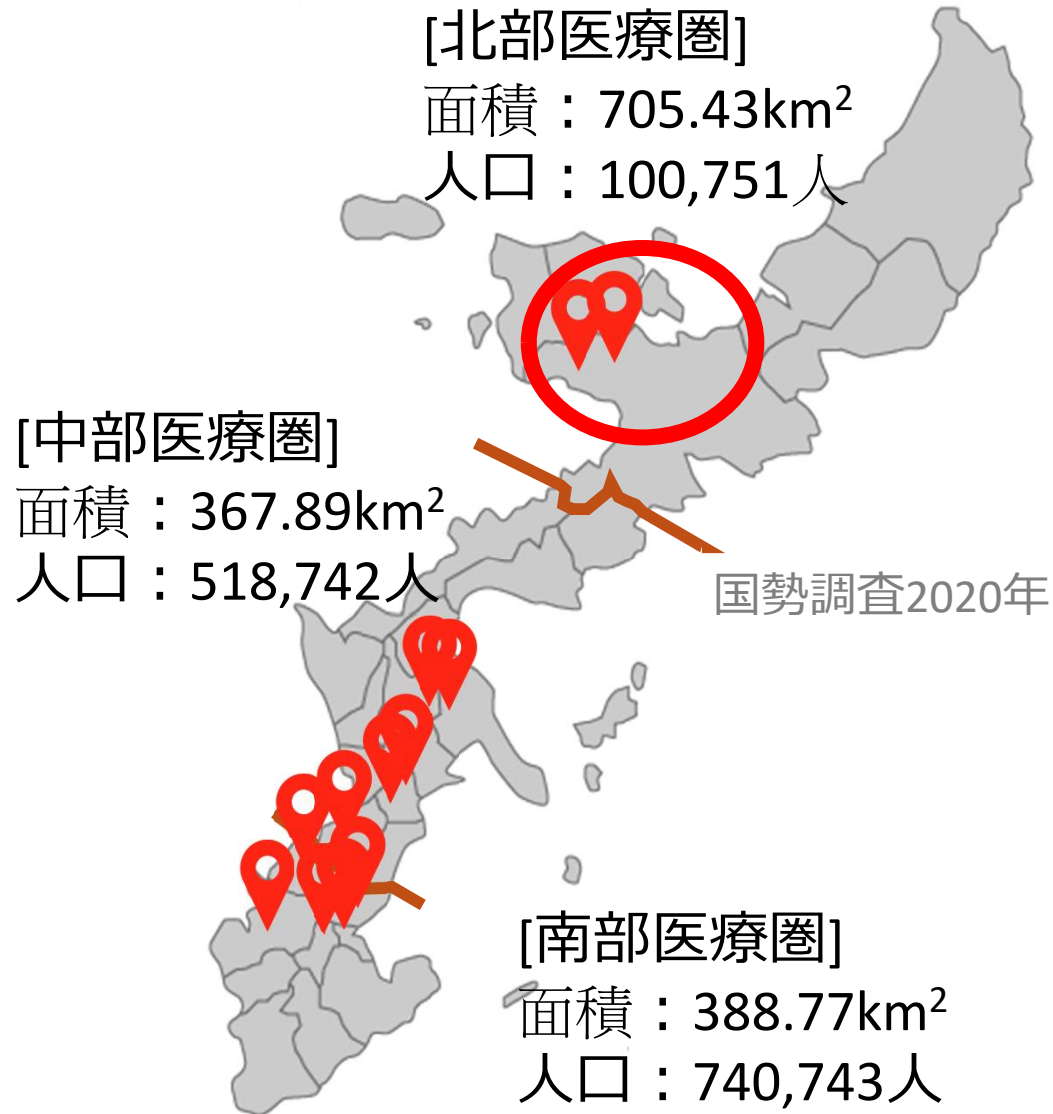
# 沖縄県

南西諸島の南半分に位置し、  
距離にして南北約400km、  
東西約1,000kmに及ぶ  
広大な海域に散在する多数の  
島々から構成

東京・大阪からは韓国より遠い・・・



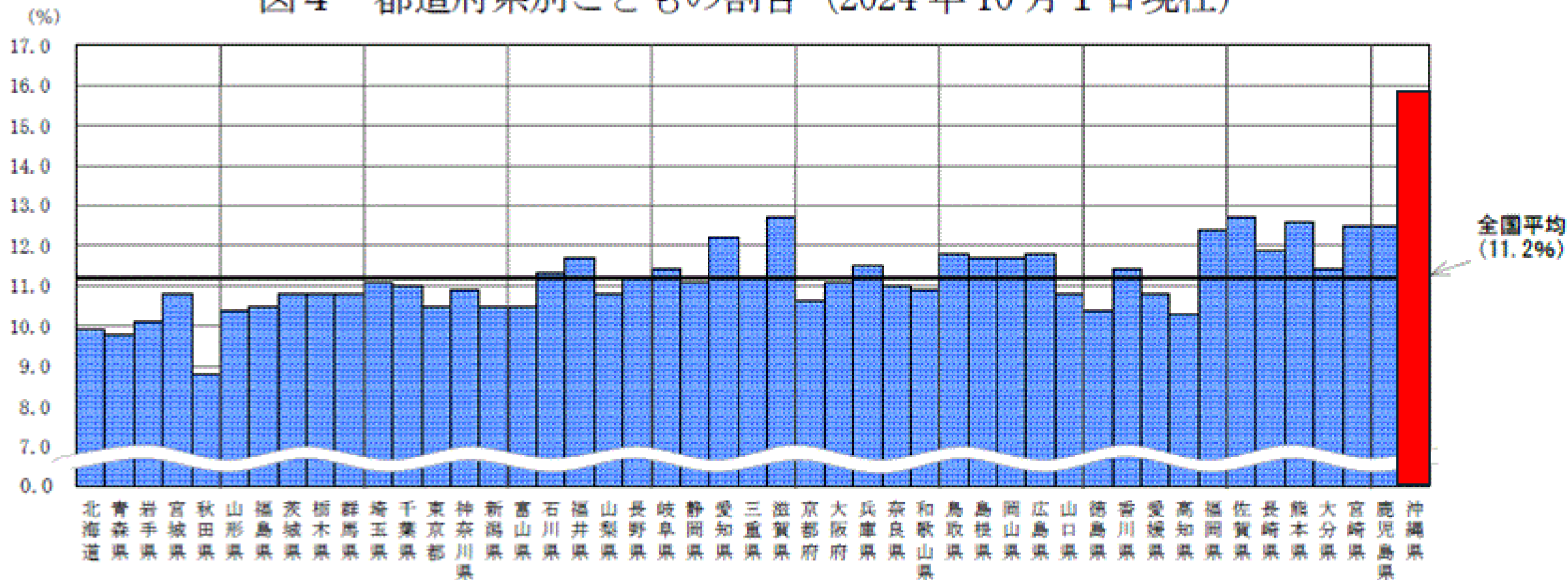
# 沖縄の実働救急医療機関



- ◆ 社団法人北部地区医師会病院
- ◆ 沖縄県立北部病院
- ◆ 中頭病院
- ◆ 沖縄県立中部病院
- ◆ 中部徳洲会病院
- ◆ 浦添総合病院
- ◆ 琉球大学病院
- ◆ ハートライフ病院
- ◆ 沖縄赤十字病院
- ◆ 大浜第一病院
- ◆ 那覇市立病院
- ◆ 沖縄協同病院
- ◆ 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- ◆ 南部徳洲会病院
- ◆ 友愛医療センター
- ◆ 県立宮古病院
- ◆ 県立八重山病院

# 子供の割合は沖縄県が多い

図4 都道府県別こどもの割合（2024年10月1日現在）

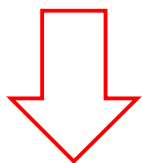


都道府県別の2024年10月1日現在における  
こどもの数をみると、前年に比べ47都道府県で  
いずれも減少

令和7年5月4日  
総務省 統計トピックス No. 145  
我が国のこどもの数－「こどもの日」にちなんで－

# 高齢者人口の伸び率

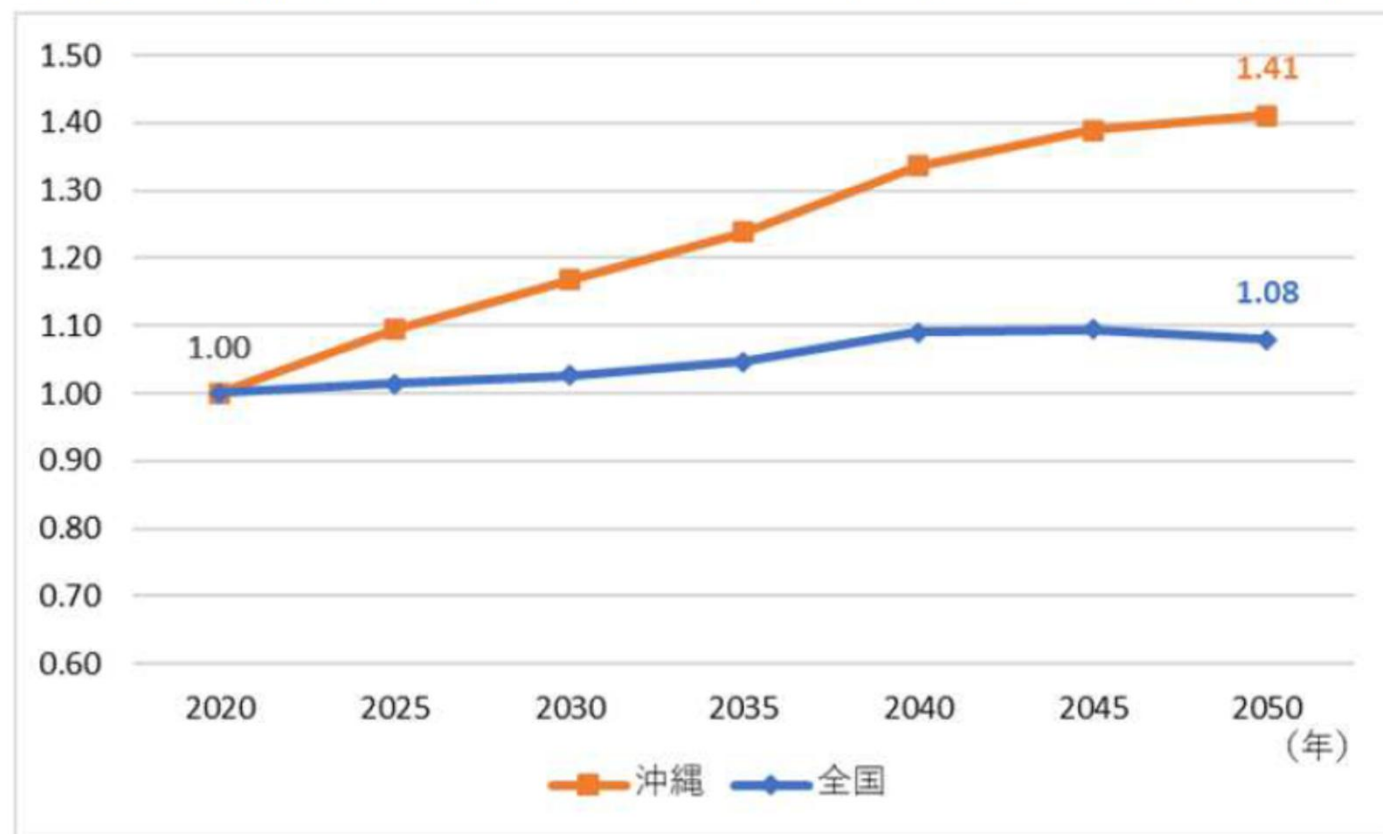
2020年から2050年まで高齢者人口の伸び率は全国で最も高い



急速に高齢者人口が増加  
未曾有の高齢者救急時代

今までの沖縄医療は行き詰まる  
前線となるのは救急医

図表9：高齢者人口の伸び率（2020年の人口を1としたときの指数）





# 全国の医療機関と比較しWalk in受診が多い

No.	区分	医療圏	医療機関名	許可病床数	医師数 (常勤のみ) (人)	救急担当 専任医師 数(人)	救急科専 門医数 (人)	救急患者受入人数		うち、ウォークイン		うち、救急車等の受入	
								件数	全国順位	件数	全国順位	件数	全国順位
1	救命救急	中部	沖縄県立中部病院	559	121	7	7	26,999	22	20,466	22	6,533	98
2	二次救急	中部	社会医療法人敬愛会中頭病院	355	158	5	6	26,742	23	19,833	24	6,909	80
3	救命救急	南部	南部医療センター・こども医療センター救命救急センター	434	162	11	8	26,466	25	22,240	17	3,574	384
4	二次救急	北部	沖縄県立北部病院	327	54	4	2	24,801	28	21,906	19	2,895	532
5	二次救急	中部	中部徳洲会病院	368	102	11	9	23,056	39	17,282	36	5,774	142
6	二次救急	宮古	県立宮古病院	277	47	3	2	18,230	82	16,027	46	2,196	737
7	二次救急	南部	沖縄協同病院	280	74	1	3	17,980	85	13,715	72	4,265	290
8	二次救急	八重山	県立八重山病院	302	53	2	1	16,823	105	16,751	41	72	2,877
9	二次救急	南部	地方独立行政法人那覇市立病院	470	133	3	6	16,527	108	12,057	101	4,470	261
10	二次救急	南部	南部徳洲会病院	345	64			13,945	177	9,073	172	4,431	270
11	二次救急	南部	友愛医療センター	378	161	2	4	12,746	211	7,875	243	4,871	211
12	二次救急	南部	大浜第一病院	214	63	2	4	11,414	279	8,551	207	2,863	539
13	救命救急	南部	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	334	131	13	5	10,455	328	6,523	323	3,932	328
14	二次救急	中部	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	308	90	2	1	9,706	376	6,209	353	3,497	398
15	二次救急	南部	沖縄赤十字病院	302	80	0	1	8,424	451	6,139	357	2,285	706
16	二次救急	北部	公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会病院	236	41	2	2	7,114	579	4,626	512	2,488	638
17	救命救急	中部	琉球大学病院	600	192	8	8	6,227	678	4,694	503	1,533	970
18	二次救急	南部	豊見城中央病院	188	26	1	0	3,634	1,066	3,565	682	69	2,887
19	二次救急	南部	牧港中央病院	99	13	0	0	2,274	1,385	2,100	1,018	302	2,146
20	二次救急	宮古	宮古島徳洲会病院	99	11	6	0	1,814	1,543	1,068	1,527	695	1,518
21	二次救急	南部	与那原中央病院	170	15	9	0	1,802	1,553	1,619	1,199	183	2,447
22	二次救急	南部	公立久米島病院	40	5	1	0	1,798	1,556	1,510	1,240	288	2,177
23	二次救急	八重山	医療法人徳洲会 石垣島徳洲会病院	62	4	0	0	1,718	1,596	1,502	1,244	216	2,349
24	二次救急	南部	医療法人祥杏会おもろまちメディカルセンター	154	14	0	0	1,104	1,942	927	1,620	177	2,470
25	二次救急	中部	宜野湾記念病院	135	10	0	0	471	2,532	402	2,216	69	2,887
26	二次救急	南部	医療法人信和会沖縄第一病院	154	21	0	0	66	3,182	20	3,070	46	2,985

# 救急病院の休日・夜間時間外の受診が多い

(1施設あたり件数2021年)





# 沖縄県は一次救急医療機関が存在しない

○ 実数

単位：件

	人口	1次救急※					救急搬送受入件数		
		件数	在宅当番医制	休日夜間急患センター	2次救急医療施設	3次救急医療施設	件数	2次救急医療施設	3次救急医療施設
北部	100,751	33,055	0	0	26,532	6,523	9,315	5,383	3,932
中部	518,742	64,192	0	0	43,726	20,466	22,782	16,249	6,533
南部	740,743	94,085	0	0	71,845	22,240	29,357	25,783	3,574
宮古	53,989	17,095	0	0	17,095	0	2,891	2,891	0
八重山	53,255	18,253	0	0	18,253	0	288	288	0
県合計	1,467,480	226,680	0	0	177,451	49,229	64,633	50,594	14,039

沖縄県は初期救急を二次と三次救急医療機関で対応

○ 人口10万人対

	人口	1次救急※					救急搬送受入件数		
		件数	在宅当番医制	休日夜間急患センター	2次救急医療施設	3次救急医療施設	件数	2次救急医療施設	3次救急医療施設
北部	100,751	32,809	0	0	26,334	6,474	9,246	5,343	3,903
中部	518,742	12,375	0	0	8,429	3,945	4,392	3,132	1,259
南部	740,743	12,701	0	0	9,699	3,002	3,963	3,481	482
宮古	53,989	31,664	0	0	31,664	0	5,355	5,355	0
八重山	53,255	34,275	0	0	34,275	0	541	541	0
県合計	1,467,480	15,447	0	0	12,092	3,355	4,404	3,448	957

※2次救急医療施設および3次救急医療施設は「ウォークイン（独歩、自家用車、民間救急車等）の受入」の件数

出典：救急医療提供体制の現状調べ（R3）



かつての北米型ER？

かかりつけ医も



「予約外」  
「時間外」  
「違う主訴」

患者も



“総丸投げ先”

とりあえず救急

戦後数十年かけて培われた、沖縄文化の一部



各科も

「ERは研修医でもできる業務」  
「自分たちも若い時にやったよ」

「いつでも行ける」  
「何とかなる」  
= 完全フリーアクセス

# 若手は育成されるが、定着しない



沖縄県  
2020年度  
初期臨床研修医  
人口10万人あたり22.2人  
と全国平均14.5人を  
**大きく上回る**

救急科従事医師数  
同6.2人（全国平均  
3.1人）にとどまり、  
**専門医育成と定着  
の乖離が課題**



資料：厚生労働省「令和2（2020年）医師・歯科医師・薬剤師調査」  
沖縄県「沖縄県人口移動報告年報」（※令和2年10月1日現在の推計人口）

# 沖縄で救急医をするメリット・デメリット

## メリット

### 仕事

- 一次～三次混在で多様な症例
- 症例・手技経験が豊富
- 離島医療・洋上救急など独特

### 生活

- 海、空、自然環境
- 暖かい気候
- 優しい県民性

## デメリット

- ER依存、救急濫用、軽症多数
- 救急医の専門性乏しい
- 学会参加や県外交流困難

- 移動制限、孤立感
- 湿潤環境

ある程度までは軽症例が多くても、総症例数の多さでメリットはある  
救急専攻医は、専門性を磨ける症例でないとモチベーションは低下

# 沖縄ER文化 → 救急医療へ

- 救急外来診療、必ずしも≠「緊急」・「重症」

雑多な患者群

社会的問題

専門科に“振れない”

緊急  
重症  
診療に

- 膨大な数の患者を、見落としやトラブルなくマネジメント

トリアージ力

多数傷・災害

コミュニケーション力

交渉力

多職種連携

継続

= ER management : 救急医の誇るべき専門性の1つ。



# 沖縄県救急医療のNEXT

- 救急病院の機能・専門性を分ける
- 離島医療、特殊疾患を勉強できる県内施設の関係性
- 基幹病院は専門医を育成し県内関連施設に送り出す
- コンビニ受診する沖縄県民の意識改革

